

ストップ!! 温暖化  
さあ始めよう! 未来のエコロジー

ようこそ!

# エコロ島

じま

児童用環境教育アニメーション映画

16ミリ 17分  
価格 ¥180,000 (税別)  
VHS ¥ 50,000 (税別)



著作・製作  
(有)アニメーション画房わ組・(株)ジャパンホームビデオ



ストップ! 温暖化  
さあ始めよう!  
未来のエコロジー

# ようこそ! エコ島

じま

今できることから、考え、  
話しあい、実行する!  
環境教育はじめての一步。

## ■あらすじ

●夏の海を走るフェリーボート。環太と境子の前に緑輝く島が見えてくる。この島の名前は、『エコロ島』

「ぼくの名前は環太。夏休みを利用して、妹の境子とエコロ島にやってきた。このごろ、地球温暖化とかエコロジーとか、環境の話をよく聞く。環境って、自分たちの身の回りのことでしょ?でも、いまいち良くわかんないんだよね。エコロ島は環境問題にとても真剣に取り組んでいる島なんだ。エコロ島には叔父さんが住んでいる。叔父さんはちょっと変わった人で、何でも『もったいない、もったいない』っていうのが口癖。だからぼくは『モッタイナイ叔父さん』って呼んでいるんだ。よっぽどケチなのかなあ・・・」

●エコロ島に着いた環太と境子は、まず、空気のおいしさに驚いてしまう。「ほら、あのエコロの森のおかげなんだよ」叔父さんは、環太と境子をエコカーに乗せ、エコロの森へと案内する。環太と境子は初めて乗ったエコカーに大はしゃぎ。排気ガスが出ないことにこれまたビックリ。「おいしい空気を汚すなんて、もったいない、もったいない」叔父さんの「もったいない節」がさっそく始まる。

●蝉や鳥の夏の音にあふれているエコロの森。森の中で柔らかな光につつまれ、樹々を見上げる三人。「森はね、なんにも言わないけれど、いろいろな仕事をしてくれているんだよ。おいしい空気をつくってくれているのもこの森だ」環太と境子はモッタイナイ叔父さんから【光合成のこと】や【ぐるぐる回る不思議なしくみ】を教えてもらう。森の生態系を知った環太と境子はまわりの自然や生き物たちが急に身近なものになる。「なんか不思議だなあ。自然ってほんとうにすごいんだね。どんなにすごいコンピューターにも真似できないや」

●さらにモッタイナイ叔父さんは言う。「このぐるぐる回る森のしくみはね、地球全体のしくみでもあるんだ。このしくみの中に人間も入っている。空気も水も食べ物も、このぐるぐる回る不思議なしくみの中から分けてもらっているんだ。だから、このしくみを守って暮らすことが、この星の生きものの約束ごとなんだ。この約束を守らないといろいろ大変なことが起こってくる・・・」

●空がにわかには曇り、雷とともに大粒の夏の雨。森は真つ暗な恐ろしい姿に見える。「大変なことって環境の問題?」「地球温暖化?」モッタイナイ叔父さんは頷く。「ぐるぐる回るのが自然のしくみだ

から、人間のやったことは、いいことも、悪いことも、かならず人間にも回ってくる」

●でも、どうして地球温暖化が起こるのだろうか?「それはね、電気やエネルギーをつくるには、物凄い量の石油や石炭を燃やさなければならぬんだ。自動車を動かすのにも燃料を燃やしている。燃料を燃やすとたくさんの二酸化炭素が出るんだ。電気も自動車も使う量があまりにも多くなってしまった。

●毎日、二酸化炭素がどんどん出て、どんどん空にのぼって、地球の回りをぐるっと毛布をかぶったみたいに包んでしまってるんだ」

●大変だ。二酸化炭素の毛布をかぶれば、地球だって暑くなる。地球の温度があがれば寒い地域にある氷が溶けだしてしまう。氷が溶けだせば海の水が増え、海面が上昇。そうなれば沈んでしまう島々がでるかもしれない。このエコロ島だってどうなるか・・・。それだけじゃない。カラカラに乾いて砂漠になってしまうところもでるだろう。暑い地域で起こるマラリアのような病気がふえ、気候の変動が農業に悪影響を及ぼす・・・絶望的な地球の未来・・・環太と境子は、目の前が真つ暗になる。

●しかし、そんな暗い未来に負けてはいられない。モッタイナイ叔父さんは、島の人々と続けてきた『モッタイナイ運動』を紹介する。「そう、最初はゴミを減らそうとしていただけなんだけど、これもぐるぐる回る不思議なくみだったんだ。ゴミを減らせば、二酸化炭素もちゃんと減らせるんだ」

●エコロ島での買い物はみんながエコ・バックを持参。使い捨ての袋はゴミのもと。作るにも資源とエネルギーがモッタイナイ。

●エコロ島で売っている飲み物はみんなビン。ペットボトルや缶はつくるにもリサイクルにもかなりのエネルギー。モッタイナイ。

●エコロ島で使われている紙はみんな再生紙。とくにティッシュやトイレットペーパーのために木を切るなんて、モッタイナイ。

●エコロ島では生ゴミだって大切な資源。生ゴミは水分ぬいて肥料にリサイクル。ただ棄てちゃうなんてモッタイナイ。

●エコロ島は省エネ島。一番モッタイナイのはリモコンで動かすための待機電力。使わない時まで電気の垂れ流し、モッタイナイ。「でも、どんなに省エネしても、電気がなければ暮らせないよね。電気をつくるには、やっぱり二酸化炭素がでるし・・・」

●そんな疑問にモッタイナイ叔父さんは、エコロ島で活躍する、二酸化炭素のでないクリーンエネルギーを紹介する。「あそこにキラキラ光っているのがソーラー発電のパネルだよ」環太と境子はびっくり。

●さらにモッタイナイ叔父さんは、環太と境子がある場所へと連れてゆく。そこには、青い空と海を背に、いくつもの真つ白で巨大な風車が力強く回っていた。「電気をおこす風車だよ。こんなにいい風が吹くんだ。モッタイナイ、モッタイナイ」

●環太と境子は、風がぐんぐん風車を回す姿を見て、『モッタイナイ』の意味を初めて実感する。自然の恵みがある。太陽の恵みがある。風の恵みがある。そして、ぐるぐる回る不思議なしくみがある。地球は生きています。

●それから一週間、清掃やゴミの分別、百年後の森づくりのための植林など、環太と境子はエコロ島の人々とともに未来のために汗を流して働く。レジャーとは一味違った夏休みを過ごした環太と境子は、『モッタイナイ』の心と確かな希望を胸にエコロ島をあとにする・・・

END

●お問い合わせ・お申し込みは

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101